

## 2018年度 つくも幼児教室 事業報告

つくも幼児教室は長生管内唯一の児童発達支援センターとして、児童発達支援、保育所等訪問支援、相談支援、障害児等療育支援事業等により、運営目標・事業計画にそって地域の障害児支援に努めてきた。

### 1.事業活動重点事項の成果及び課題

#### ①児童発達支援

- ・ 人への安心感を育て土台とし、豊かな遊びで人が関わるのが児童の発達に大切であるという共通認識のもと保育を行ってきた。「楽しくわかりやすいあそびの工夫」「個々の児童にあったクラス編成」「集団と個別の支援」等で成長発達を促すことができた。更に各児童への支援の充実が課題となる。
- ・ 2つの家族担当グループにより、児童及び家庭についての理解を深め、個別支援計画に基づき継続した支援を行った。困難なケースについては、事例検討等で、現状、課題、方向性を明確にし、共通理解のもと支援に努め、また関係機関とも連携しながら支援を継続できるようにしてきた。
- ・ 家族支援について、個々の家庭状況により個別送迎、延長保育等により生活の安定に努めた。
- ・ 給食提供により食への意欲・食具の使用・児童にあった摂食支援を通して成長を促すことができた。
- ・ 定員30名に対して総契約者は58名、途中退所者3名であった。曜日の調整や保育所等訪問支援、外来療育支援の利用により待機児童をださずに受け入れることができた。
- ・ 保護者については、児童の発達についての心配、保護者の体調不良等様々な問題を抱えていることを意識して関わってきた。保育への要望や保護者の就労希望・体調の不安等の話も出され、その都度職員全体で話し合い対応してきた。また、2018年度から必須になった保護者による事業所評価を実施して支援の参考とした他、相談支援専門員との連携により保護者の要望等も把握し支援してきた。今後も、変化する保護者の状況やニーズをとらえ応えていくことや発信しやすい環境作りが課題となる。

<利用状況> 年間開園日数：241日 1日の平均利用率：27.7人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開園日数	19	22	21	21	19	19	22	21	19	19	19	20
出席率	29.4	27.2	28.1	28.4	29.9	24.1	27.3	26.4	27.8	25.6	28.3	30.2
契約者	53	53	54	54	54	54	53	53	53	53	52	55

#### <障害種別>

知的障害 47名 肢体不自由・内部障害 9名 発達障害の疑い等(知的障害のない) 2名

#### <年齢別内訳>

年長児：19名 年中児：15名 年少児：15名 未満児：9名

#### <市町村内訳>

市町村	茂原市	長生村	白子町	一宮町	大網白里市	長南町	長柄町	いすみ市	大多喜町
人数	39	5	2	1	1	1	5	3	1

#### <卒園児の動向>

大網白里特別支援学校：7名 長生特別支援学校：1名 袖ヶ浦特別支援学校：1名  
学区内小学校特別支援学級：3 学区内小学校：4名

#### ②保育所等訪問支援

- ・ 併行利用児に対して、保育所等での成長を保障することや集団生活への支援を目的に、訪問を実施してきた。児童への支援、職員への助言（児童の見方、関わり方、成長の確認等）を行った。
- ・ 年度初めに児童発達支援管理責任者が訪問し、制度について簡単な説明を行い、児童の状況を把握した後、訪問担当職員中心に支援を行った。継続の園については、関係もできて訪問を待っている園もあり、併行利用児の他に気になる園児についても相談したいという園が多かった。継続することで職員が安心して発達に心配のある子を受け入れ、支援していける環境が作れた。

<利用状況> 契約者：22名 訪問保育所・幼稚園：17園 訪問回数60回（81ケース）

### ③相談支援

- ・ 利用計画作成においては、児童・家庭の様子を把握し保護者の不安要望等聴くことを心掛けてきた。
- ・ 契約者の普段の様子を事業所訪問等で把握すること、モニタリング以外でも不安や要望を聴き関係づくりを大切にし、急な支援の必要にも応えられるようにしてきた。
- ・ つくも幼児教室利用を問わず計画作成等の依頼は、長生夷隅管内については断らず受けてきた。また、早急に事業所を利用したい場合にも、関係機関との連携により希望に添えるよう努めてきた。
- ・ 利用計画作成等事業所利用に関するだけでなく、必要に応じて関係者会議に出席してきた。
- ・ 非常勤職員を雇用し、また市町村担当者と連携をしたことで、ケースの増加に対応することができた。
- ・ 卒園後の支援について、複数個所の事業所を紹介し保護者の選択により安心した利用につながった。

<利用状況> 契約者：210名（つくも幼児教室利用児1/4、他事業所利用児3/4）

計画作成：214件 モニタリング：464件

契約者の年齢内訳 幼児：78名、小学生：105名、中・高校生：27名

### ④障害児等療育支援

- ・ 障害が確定しない気になる段階の児童や市町村健診事業のフォロー、保育所・幼稚園への支援、児童発達支援の利用を見据えた前段階の利用等保護者、児童の状況に合わせて活用することができた。引き続き通園への入口として大切な事業となっている。

<利用状況>

事業名	外来療育	外来相談	訪問療育	訪問相談	施設支援指導	合計
件数	304	53	0	1	38	396

### ⑤その他市町村事業

- ・ 長生・夷隅郡市の市町村健診、育児相談、親子グループ遊び、保育所等の巡回事業に参加した。その中で療育につながるケースが多数あった。また、保健師・各市町村の児童に関係する担当職員等と顔を合わせる機会が多かったことで相互に相談しやすい関係ができてきた。

## 2.運営について

### ①研修

- ・ 内部・外部研修、事例検討、各ミーティングを通して、資質の向上、専門技術の習得に努めてきた。研修等で得た知識、技術を個々にまた職員同士が共有して実践にいかしていくことを意識してきた。各事業をより充実していくために、職員の力量を高めていくことが課題となる。

### ②会議

- ・ 会議を通して共通理解を深めるよう努力してきた。事前に資料を配布し、各自が意見をもち会議に臨むようにした。様々な経験年数の職員同士が意見を出し合って、複数の考えを検証しより良い支援につなげていくことを心がけた。

### ③事故発生の予防

- ・ 普段から危険な箇所を把握し、クッション設置や柵の補修等早めの修繕を心掛けた。
- ・ 保育前の打ち合わせを心がけ、気をつけることなど職員で確認し安全面について気をつけた。
- ・ 発作や食物アレルギー等のある児童について、保護者とマニュアルを作成し対応してきた。
- ・ 送迎、給食については事故なく提供することができた。

### ④その他

- ・ 予定していた空調設備の入れ替え、絨毯の張り替え4部屋を行い保育環境を整えることができた。
- ・ 耐震診断を行い、強度確保が実証され安全が確認できた。
- ・ 職種間・職員間の連携に努めつくも幼児教室として仕事をしていることを個々の職員が意識し大切にしてきた。今後もチームとして良い仕事をしていけるようにしたい。